留学生インターンシップin GIFU　成果報告書

【岐阜経済大学　経営学部　情報メディア学科】
【氏名：ジョイ】

【受入れ企業：株式会社日東製陶所】
【インターン実施期間：2016年8月29日～9月2日】

この企画に参画した理由

今回インターンシップに参加させて、本当によかったと思う。理由は以下の二つである。
まず一つは自分が成長したいことだと思う。日本に来た四年間でずっとアルバイトをしながら勉強していますが、アルバイトと正社員の仕事は完全に違うと思い、まだ一回日本の会社にも入ったことない私として、どうしてもやってみたいと思う。自分の短所を見つけ、そして直し、もっといい自分を創る。
もう一つは、経験を積みたいと思う。なぜなら、将来卒業した後に日本で就職したく、いっぱい経験があると、就職しやすくなれると思う。現在の社会非常に発展してきて、競争も激しくなる。将来日本で就職しょうと思い、あと一年卒業するため、その前に今回の経験ができて、本当によかったと思い、この経験を、これからの就職活動に活かしていきたいと思う。
以上の二つ理由で、インターンシップに参加した。

5日間のインターン報告　DAY 1

AM

PM

薬をつけています

調合をやってみました

●企業コメント　　（担当：柴山　）

釉薬の調合・手吹き作業ともに集中して行っていました
日本語での意思疎通もできよかったです

5日間のインターン報告　DAY 2

AM

柚薬を調整しています

検品しています

PM

成品のタイルを測量しています

●企業コメント　（担当：米口　）

施釉作業・選別作業ともに一生懸命行うことができていてよかったです
検査作業も手際よく行っていました

5日間のインターン報告　DAY 3

AM

乾燥室の温度を記録しています

PM

タイルを組み立てています

●企業コメント　（担当：植松　）

日本語での意思疎通ができよかったです
作業も手際よくできていました

5日間のインターン報告　DAY 4

AM

事務所でレポートを作っています

PM

カフェという店で接客していました

●企業コメント　　（担当：若尾　）

レポート作成の途中で、工房で接客もしてもらいました

5日間のインターン報告　DAY 5

AM

事務所でレポートを作っています

PM

●企業コメント　　（担当：若尾　）

レポート作成を行ってもらいました

この会社の魅力（ベスト3）

1.社員みんなが優しいです

2.会社の雰囲気がいいです

3.将来もっと発展していく会社だと思います

この会社を海外（自分の母国）にPRするポスターをデザインしてください

コンセプト：上記のポスターであなたが伝えたかったことを補足してください。

ＮＴというのは「日東製陶」を短くして「日陶」と呼ばれる、それにロマ字にして「ＮＴ」です

株式会社日東製陶所の
インターンシッププログラムについて

■今回の実施業務内容

3日間で四つの工場でタイルの作り方とか会社の全体を見せました
様々なことを学んでもらいました。

■改善提案

床タイル生産工場もっと若者を使ったら、どうかなだと考えます

改善ポイントとその根拠・理由
　そこの現場老年化になっていると思います。直接現場を見たら、元気がないかなという印象になれてしまうかもしれません

インターンシップ受講の感想

ジョイ

インターンシップ感想文

私は8月29日から9月２日の５日間、日東製陶㈱のインターンシップに実習参加しました。㈱日東製陶所は様々なタイルを作って販売しています。海外にも販売しています。

今まで一番感謝したいのは若尾さんです。月曜日から今まで5日間でいつも優しく世話されてくれました。本当に優しい人だと思います。今回のインターンシップに参加して、一番驚いた事も若尾さんのことなんです。若尾さん毎日朝3時半に起きて、5時から仕事が始まって、夜7時に帰ります。こんな長い時間で仕事をして、中国の私として、信じられない事なんです。中国でこういう仕事ばっかり人が少ないですから。

月曜日から、私は現場に入って、現場の皆がたくさん仕事に関することを教えてくれました。詳しくやさしく。その中で、さまざまな事を学びました。1つ目は、社会に出て仕事をすることの大変さを学びました。この夏は暑くて、現場にもっと熱いです。働いてお金を稼ぐということは、今までとは違い、本当に大変なんだということを改めて認識することができました。仕事に対するやりがいについてです。現場などの大変な仕事は、やりがいがなければ続けられないと思います。自分の仕事を完成させたときの達成感などがやりがいに繋がるのかなと思いました。

あと1年したら私も就職します。その前に今回の経験ができて、よかったです。この経験を、これからの就職活動に活かしていきたいと思います。